

1. 次の数列の初項から第 n 項までの和を求めよ。

- (1) $3^2, 6^2, 9^2, 12^2, \dots$
- (2) $1\cdot 5, 2\cdot 7, 3\cdot 9, 4\cdot 11, \dots$
- (3) $2, 2+4, 2+4+6, 2+4+6+8, \dots$
- (4) $1, 1+\frac{1}{3}, 1+\frac{1}{3}+\frac{1}{3^2}, \dots$

2. 次の和を求めよ。

- (1) $\sum_{k=1}^n k(k^2+1)$
- (2) $\sum_{k=1}^n (3n-k+1)$
- (3) $\sum_{k=5}^{14} (2k-9)$

4. 次の数列の初項から第 n 項までの和を求めよ。 $\frac{1}{1\cdot 5}, \frac{1}{5\cdot 9}, \frac{1}{9\cdot 13}, \dots$

3. 一般項が $2n\cdot 3^{n-1}$ で表される数列の初項から第 n 項までの和

$S=2\cdot 1+4\cdot 3+6\cdot 3^2+\dots+2n\cdot 3^{n-1}$

を求めよ。

5. 和 $\sum_{k=1}^n k2^k$ を求めよ。

6. 数列 $\frac{1}{1}, \frac{1}{2}, \frac{3}{2}, \frac{1}{3}, \frac{3}{3}, \frac{5}{3}, \frac{1}{4}, \frac{3}{4}, \frac{5}{4}, \frac{7}{4}, \frac{1}{5}, \dots$ について
- (1) $\frac{5}{8}$ は第何項か。

(2) この数列の第 800 項を求めよ。

(3) この数列の初項から第 800 項までの和を求めよ。

7. 奇数の数列 1, 3, 5, …… を
- (1), (3, 5), (7, 9, 11), (13, 15, 17, 19), ……
- のように, 順に 1 個, 2 個, 3 個, …… の群に分ける。
- (1) 第 n 番目の群の最初の奇数を n の式で表せ。

(2) 第 20 番目の群に入る奇数の和を求めよ。

8. 数列 1, 2, 2, 3, 3, 3, 4, 4, 4, 4, 5, 5, 5, 5, 5, 6, …… の第 n 項を a_n とする。
- この数列を
- 1|2, 2|3, 3, 3|4, 4, 4, 4|5, 5, 5, 5, 5|6, ……
- のように 1 個, 2 個, 3 個, 4 個, …… と区画に分ける。
- (1) 第 1 区画から第 20 区画までの区画に含まれる項の個数を求めよ。

(2) 第 1 区画から第 20 区画までの区画に含まれる項の総和を求めよ。

(3) $a_1 + a_2 + a_3 + \dots + a_n \geq 3000$ となる最小の自然数 n を求めよ。

1. 次の数列の初項から第 n 項までの和を求めよ。

- (1) $3^2, 6^2, 9^2, 12^2, \dots$
- (2) $1\cdot 5, 2\cdot 7, 3\cdot 9, 4\cdot 11, \dots$
- (3) $2, 2+4, 2+4+6, 2+4+6+8, \dots$
- (4) $1, 1+\frac{1}{3}, 1+\frac{1}{3}+\frac{1}{3^2}, \dots$

解答

(1) $\frac{3}{2}n(n+1)(2n+1)$

(2) $\frac{1}{6}n(n+1)(4n+11)$

(3) $\frac{1}{3}n(n+1)(n+2)$

(4) $\frac{3}{2}n-\frac{3}{4}+\frac{3}{4}\left(\frac{1}{3}\right)^n$

解説

(1) 第 k 項は $(3k)^2=9k^2$

ゆえに $\sum_{k=1}^n 9k^2=9\cdot \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1)=\frac{3}{2}n(n+1)(2n+1)$

(2) 第 k 項は $k(2k+3)$

ゆえに $\sum_{k=1}^n k(2k+3)=\sum_{k=1}^n (2k^2+3k)=2\sum_{k=1}^n k^2+3\sum_{k=1}^n k$

$$=2\cdot \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1)+3\cdot \frac{1}{2}n(n+1)$$
$$=\frac{1}{6}n(n+1)\{2(2n+1)+9\}=\frac{1}{6}n(n+1)(4n+11)$$

(3) 第 k 項は $2+4+6+\dots+2k=\sum_{i=1}^k 2i=2\cdot \frac{1}{2}k(k+1)=k^2+k$

ゆえに、求める和は

$$\sum_{k=1}^n (k^2+k)=\frac{1}{6}n(n+1)(2n+1)+\frac{1}{2}n(n+1)$$
$$=\frac{1}{6}n(n+1)(2n+1+3)$$
$$=\frac{1}{3}n(n+1)(n+2)$$

(4) 第 k 項は $1+\frac{1}{3}+\dots+\frac{1}{3^{k-1}}=\frac{1-\left(\frac{1}{3}\right)^k}{1-\frac{1}{3}}=\frac{3}{2}\left\{1-\left(\frac{1}{3}\right)^k\right\}$

ゆえに、求める和は

$$\sum_{k=1}^n \frac{3}{2}\left\{1-\left(\frac{1}{3}\right)^k\right\}=\frac{3}{2}\sum_{k=1}^n 1-\frac{3}{2}\sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{3}\right)^k=\frac{3}{2}n-\frac{3}{2}\cdot \frac{1}{3}\cdot \frac{1-\left(\frac{1}{3}\right)^n}{1-\frac{1}{3}}$$
$$=\frac{3}{2}n-\frac{3}{4}+\frac{3}{4}\left(\frac{1}{3}\right)^n$$

2. 次の和を求めよ。

- (1) $\sum_{k=1}^n k(k^2+1)$
- (2) $\sum_{k=1}^n (3n-k+1)$
- (3) $\sum_{k=5}^{14} (2k-9)$

解答

(1) $\frac{1}{4}n(n+1)(n^2+n+2)$

(2) $\frac{1}{2}n(5n+1)$

(3) 100

解説

(1) $\sum_{k=1}^n k(k^2+1)=\sum_{k=1}^n (k^3+k)=\sum_{k=1}^n k^3+\sum_{k=1}^n k$

$$=\left\{\frac{1}{2}n(n+1)\right\}^2+\frac{1}{2}n(n+1)=\frac{1}{4}n(n+1)\{n(n+1)+2\}$$

$$=\frac{1}{4}n(n+1)(n^2+n+2)$$

(2) $\sum_{k=1}^n (3n-k+1)=\sum_{k=1}^n (3n+1)-\sum_{k=1}^n k=(3n+1)n-\frac{1}{2}n(n+1)$

$$=\frac{1}{2}n\{2(3n+1)-(n+1)\}=\frac{1}{2}n(5n+1)$$

(3) $\sum_{k=1}^n (2k-9)=2\sum_{k=1}^n k-\sum_{k=1}^n 9=2\cdot \frac{1}{2}n(n+1)-9n=n(n-8)$

ゆえに $\sum_{k=5}^{14} (2k-9)=\sum_{k=1}^{14} (2k-9)-\sum_{k=1}^4 (2k-9)$

$$=14(14-8)-4(4-8)=100$$

別解 $k-4=i$ とおくと $2k-9=2(i+4)-9=2i-1$

また、 $5\leq k\leq 14$ のとき $1\leq i\leq 10$

ゆえに $\sum_{k=5}^{14} (2k-9)=\sum_{i=1}^{10} (2i-1)=2\cdot \frac{1}{2}\cdot 10(10+1)-10=100$

3. 一般項が $2n\cdot 3^{n-1}$ で表される数列の初項から第 n 項までの和

$$S=2\cdot 1+4\cdot 3+6\cdot 3^2+\dots+2n\cdot 3^{n-1}$$

を求めよ。

解答

$S=\frac{1}{2}\{(2n-1)\cdot 3^n+1\}$

解説

$$S=2\cdot 1+4\cdot 3+6\cdot 3^2+\dots+2n\cdot 3^{n-1}$$

両辺に 3 を掛けると

$$3S=2\cdot 3+4\cdot 3^2+\dots+2(n-1)\cdot 3^{n-1}+2n\cdot 3^n$$

辺々引くと

$$S-3S=2\cdot 1+2\cdot 3+2\cdot 3^2+\dots+2\cdot 3^{n-1}-2n\cdot 3^n$$
$$=2(1+3+3^2+\dots+3^{n-1})-2n\cdot 3^n$$
$$=2\cdot \frac{1\cdot (3^n-1)}{3-1}-2n\cdot 3^n$$
$$=(1-2n)\cdot 3^n-1$$

ゆえに、 $-2S=(1-2n)\cdot 3^n-1$ であるから

$$S=\frac{1}{2}\{(2n-1)\cdot 3^n+1\}$$

4. 次の数列の初項から第 n 項までの和を求めよ。 $\frac{1}{1\cdot 5}, \frac{1}{5\cdot 9}, \frac{1}{9\cdot 13}, \dots$

解答

$\frac{n}{4n+1}$

解説

第 k 項は

$$\frac{1}{(4k-3)(4k+1)}=\frac{1}{4}\cdot \frac{(4k+1)-(4k-3)}{(4k-3)(4k+1)}=\frac{1}{4}\left(\frac{1}{4k-3}-\frac{1}{4k+1}\right)$$

ゆえに、初項から第 n 項までの和は

$$\frac{1}{4}\left\{\left(\frac{1}{1}-\frac{1}{5}\right)+\left(\frac{1}{5}-\frac{1}{9}\right)+\left(\frac{1}{9}-\frac{1}{13}\right)+\dots+\left(\frac{1}{4n-3}-\frac{1}{4n+1}\right)\right\}$$
$$=\frac{1}{4}\left(1-\frac{1}{4n+1}\right)=\frac{n}{4n+1}$$

5. 和 $\sum_{k=1}^n k2^k$ を求めよ。

解答

$(n-1)\cdot 2^{n+1}+2$

解説

$$S_n=\sum_{k=1}^n k2^k$$
 とおくと

$$S_n=1\cdot 2+2\cdot 2^2+3\cdot 2^3+\dots+n2^n$$
$$2S_n=1\cdot 2^2+2\cdot 2^3+\dots+(n-1)\cdot 2^n+n2^{n+1}$$

辺々を引くと

$$-S_n=2+2^2+2^3+\dots+2^n-n2^{n+1}$$
$$=\frac{2(2^n-1)}{2-1}-n2^{n+1}=(1-n)\cdot 2^{n+1}-2$$

よって $S_n=(n-1)\cdot 2^{n+1}+2$ すなわち $\sum_{k=1}^n k2^k=(n-1)\cdot 2^{n+1}+2$

6. 数列 $\frac{1}{1}, \frac{1}{2}, \frac{3}{2}, \frac{1}{3}, \frac{3}{3}, \frac{5}{3}, \frac{1}{4}, \frac{3}{4}, \frac{5}{4}, \frac{7}{4}, \frac{1}{5}, \dots$ について

- (1) $\frac{5}{8}$ は第何項か。
- (2) この数列の第 800 項を求めよ。
- (3) この数列の初項から第 800 項までの和を求めよ。

解答

(1) 第 31 項

(2) $\frac{39}{40}$

(3) 790

解説

$$\frac{1}{1}\left|\frac{1}{2}, \frac{3}{2}\right|\frac{1}{3}, \frac{3}{3}, \frac{5}{3}\left|\frac{1}{4}, \frac{3}{4}, \frac{5}{4}, \frac{7}{4}\right|\frac{1}{5}, \dots$$

のように群に分ける。

(1) $\frac{5}{8}$ は第 8 群の 3 番目の項である。第 1 群から第 7 群までには $\sum_{k=1}^7 k$ 個の項があるので

$$\sum_{k=1}^7 k+3=31$$
 であるから 第 31 項

(2) 第 800 項が第 n 群に含まれるとすると $\sum_{k=1}^{n-1} k<800\leq \sum_{k=1}^n k$

よって $(n-1)n<1600\leq n(n+1)$

これを満たす自然数 n は $39\cdot 40=1560, 40\cdot 41=1640$ より $n=40$

$(\sqrt{1600}=40$ より見当をつけてもいい)

第 39 群の最後の項は、最初から数えて $1+2+3+\dots+39=\sum_{k=1}^{39} k$ 番目なので

$$800-\sum_{k=1}^{39} k=20$$
 であるから 第 800 項は $\frac{39}{40}$

(3) 第 n 群の n 個の分数の和は $\frac{1}{n}+\frac{3}{n}+\dots+\frac{2n-1}{n}=\sum_{k=1}^n \left(\frac{2k-1}{n}\right)=\frac{1}{n}\cdot n^2=n$

ゆえに、第 1 群から第 39 群までは、群ごとに加え、第 40 群は $\frac{1}{40}$ か $\frac{39}{40}$ までの

20 項を足せばよい。求める和は

$$\sum_{k=1}^{39} k+\left(\frac{1}{40}+\frac{3}{40}+\frac{5}{40}+\dots+\frac{39}{40}\right)=\frac{1}{2}\cdot 39\cdot 40+\frac{1}{40}\left\{\frac{1}{2}\cdot 20(1+39)\right\}=790$$

7. 奇数の数列 $1, 3, 5, \dots$ を

- (1), (3, 5), (7, 9, 11), (13, 15, 17, 19), \dots

のように、順に1個，2個，3個，……の群に分ける。

- (1) 第 n 番目の群の最初の奇数を n の式で表せ。
- (2) 第 20 番目の群に入る奇数の和を求めよ。

【解答】 (1) n^2-n+1 (2) 8000

【解説】

- (1) 第 k 番目の群に入る奇数は k 個であるから、 $n \geq 2$ のとき、第 1 番目の群から第 $(n-1)$ 番目の群までに入る奇数は

$$1+2+3+\cdots+(n-1)=\frac{1}{2}(n-1)n \text{ (個)}$$

よって、第 n 番目の群の最初の奇数は、奇数の数列 1, 3, 5, …… の

第 $\left\{\frac{1}{2}(n-1)n+1\right\}$ 項である。この奇数の列の第 N 項は $1+(N-1)\cdot 2=2N-1$

となるので、 N に $\frac{1}{2}(n-1)n+1$ を代入して $2\left\{\frac{1}{2}(n-1)n+1\right\}-1=n^2-n+1$

これは $n=1$ のときにも成り立つ。

- (2) (1) の結果から、第 20 番目の群の最初の奇数は $n=20$ より $20^2-20+1=381$ 第20群には、20項の項が属しているので
よって、求める和は初項 381，公差 2，項数 20 の等差数列の和であるから

$$\frac{1}{2}\cdot 20\{2\cdot 381+(20-1)\cdot 2\}=8000$$

8. 数列 1, 2, 2, 3, 3, 3, 4, 4, 4, 4, 5, 5, 5, 5, 5, 6, …… の第 n 項を a_n とする。
この数列を

$$1|2, 2|3, 3, 3|4, 4, 4, 4|5, 5, 5, 5, 5|6, \cdots$$

のように1個，2個，3個，4個，……と区画に分ける。

- (1) 第 1 区画から第 20 区画までの区画に含まれる項の個数を求めよ。
- (2) 第 1 区画から第 20 区画までの区画に含まれる項の総和を求めよ。
- (3) $a_1+a_2+a_3+\cdots+a_n\geq 3000$ となる最小の自然数 n を求めよ。

【解答】 (1) 210 個 (2) 2870 (3) 217

【解説】

- (1) 第 k 区画に含まれる項の個数は k である。

よって、第 1 区画から第 20 区画までの区画に含まれる項の個数は

$$1+2+\cdots+20=\sum_{k=1}^{20} k=\frac{1}{2}\cdot 20\cdot 21=210 \text{ (個)}$$

- (2) 第 k 区画に含まれる項の総和は

$$k+k+\cdots+k=k\cdot k=k^2$$

よって、第 1 区画から第 20 区画までの区画に含まれる項の総和は

$$1^2+2^2+\cdots+20^2=\sum_{k=1}^{20} k^2=\frac{1}{6}\cdot 20\cdot 21\cdot 41=2870$$

- (3) 第 21 区画の総和は $21^2=441$

(2) より、第 1 区画から第 21 区画までの区画に含まれる項の総和は

$$2870+441=3311$$

よって、第21区画のある数までの和で初めて3000を超えるので

a_n は第 21 区画に含まれる。

$3000-2870=130$ であるから、第21区画の1番目から何番目までの和で

130を超えるか考えると、 $21\cdot 6=126$ ， $21\cdot 7=147$ であるから、

7番目までで130を初めて超える。よって、求める最小の自然数 n の

値は $n=210+7=217$